

案内

第24回

看護国際フォーラム(Web開催)

日時: 10月29日(土) 13:00～16:00

テーマ: With コロナの経験から得た知見—未来志向で考えるシームレスな新人教育のあり方

プログラム: ライブ講演「“オール兵庫”で取り組むコロナ禍での新人看護師育成」大野かおり(RN, PHN, RNM, PhD, 兵庫県立大学看護学部在宅看護学教授, 兵庫県看護協会第二副会長)／動画講演「看護基礎教育と臨床ギャップへの架け橋—看護実践への移行」岩間恵子(PhD, RN, CCRN, 米国ベース大学看護学部基礎看護学助教)／質疑応答 大野かおり

定員: 500名(先着順)

参加費: 無料

参加登録方法: 下記Webサイトの申込フォームより

<https://forms.gle/w9h1cVEbns3nabqa6>

参加登録締切: 10月21日(金)

問い合わせ先: 大分県立看護科学大学看護国際フォーラム担当

〒870-1201 大分県大分市廻栖野2944-9

TEL: 097-586-4300

E-mail: forum2022@gm.oita-nhs.ac.jp

<https://www.oita-nhs.ac.jp/site/general-public/24th-forum.html>

案内

第53回(2022年度)

日本看護学会学術集会

日時: 11月8日(火)～9日(水)

会場: 幕張メッセ(千葉市美浜区)

テーマ: 変化する社会で求められる看護の役割—地域における健康・療養支援の強化

プログラム: 基調講演「変化する社会で求められる看護の役割—地域における健康・療養支援の強化」福井トシ子(日本看護学会学術集会会長, 日本看護協会会長)／特別講演2「ICTを活用した看護職の新たな活動モデル—地域を基盤とした重症化予防, 高度実践看護」森山美知子(広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学教授)／3「DX(デジタルトランスフォーメーション)によって, 看護の仕事はどう変わるのか」小林史明(デジタル副大臣兼内閣府副大臣)／教育講演「看護におけるEBPM／EIPMの推進に向けて」林田賢史(産業医科大学

病院医療情報部長)／シンポジウム1「医療機関から飛び出そう! 女性の健康支援には看護職の力が必要だ!」関正節(高知医療センター病棟看護部長), 宮下美代子(みやしたの助産院院長), 小嶋由美(ことり助産院院長)／2「看護補助者を確保するためのヒント—自施設ですぐできることを見つけよう」鈴木恵巨(日本看護協会看護開発部教育制度課課長), 後藤友美(厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室長), 小野恵美子(大阪府看護協会常務理事)／3「看護職の力で行う人々の健康・療養支援」川添高志(ケアプロ株式会社代表取締役), 小柳弘恵(やんばる希望が丘助産院院長), 樋口千恵子(たながく理事長)／4「地域包括ケア推進に資する外来看護職の活動」岩澤由子(日本看護協会医療政策部部長), 古田明美(岐阜県総合医療センター管理監), 青木美佐子(入澤泌尿器科内科クリニック法人事務局長兼統括看護部長)／5「地域における戦略的看護職確保」草野哲也(厚生労働省医政局看護課看護職員確保対策官), 森内みね子(日本看護協会常任理事), 若月裕子(山形県看護協会会長)／交流集会1「看護職のバーンアウトや離職を防ぐメンタルヘルスケア—個人への効果的なセルフケアサポートと組織によるラインケアを考える」萱間真美(国立看護大学校長), 高橋晶(筑波大学医学医療系災害・地域精神医学准教授, 茨城県立こころの医療センター, 筑波メディカルセンター病院精神科)／2「すべての母子が安心して子育てできるまちづくりを目指そう!!」秦美恵子(鳥根県看護協会会長), 太山由佳(香川県小豆総合事務所保健福祉課長)／3「看護専門職としての倫理観の醸成に向けて—「看護職の倫理綱領」を活用した教育支援」久保祐子(日本看護協会看護開発部部長), 吉岡幸(神奈川県立平塚看護大学校長), 千葉美恵子(札幌市病院内立札幌病院看護部長)／4「国際保健・国際看護領域における看護職のキャリア構築の現状と課題」芝田おぐさ(WHO西太平洋地域事務局ナースングオフィサー, テクニカルオフィサー), 大田えりか(聖路加国際大学大学院教授), 小野崎耕平(聖路加国際大学公衆衛生大学院教授)／5「中小規模病院における施設内教育の充実に向けた取り組み」渡邊ひろみ(寒河江市立病院総看護師長), 浅田孝章(済生会小樽病院看護管理室看護主幹)／6「特定認定看護師の実際の活動—特定行為研修修了後の活動の変化や成果」井田奈央(訪問看護ステーションワークスタッフ鶴の木管理者), 山

崎優介(広島市立北部医療センター安佐市民病院救命救急外来・主任看護師, 糖尿病看護特定認定看護師)／7「看護の質改善に向けたデータの読み解きを体験しよう—DiNQLの新機能を使って質改善へ」高橋有紀(日本看護協会医療政策部看護情報課), 中麻里子(大阪公立大学医学部附属病院看護部副部長), 倉持玲子(佐々総合病院看護部長)／8「心身の負担の少ないシフト—頻繁な昼夜遷移が生じない夜勤・交代制勤務について」奥村元子(日本看護協会労働政策部看護労働課), 奥裕美(聖路加国際大学大学院看護学研究科教授)／9-2「看護業務効率化先進事例アワード受賞施設に学ぶ業務効率化(多職種連携)—自施設でできることを見つけよう」新井朋子(東京都立小児総合医療センター副看護師長), 五藤陽子(北里大学病院副部長), 山中由貴子(公立羽咋病院医療サービス推進室室長)／セミナー1「看護職員の賃金について考えてみよう—私たちの賃金はどのように決まっているのか」福井トシ子(日本看護協会会長)／2「医療・看護に係る国際動向」手島恵(千葉大学大学院看護学研究科教授), 安西恵梨子(WHO西太平洋地域事務局ナースングオフィサー)／3「明日からできる実践での研究活動!」山勢博彰(山口大学大学院医学系研究科教授), 今泉千代(日本看護協会図書館館長)／4「令和4年度診療報酬改定のポイント」吉川久美子(日本看護協会常任理事)／ほか

参加登録: [当日申込] 11月8日(火)～9日(水)

※現地会場参加者は, 講演・公募企画のオンデマンド配信が視聴可能。一般演題・ランチョンセミナーの配信はなし

参加費: [当日参加(現金・税込)] 会員1万4850円, 非会員1万9800円, 学生5500円

問い合わせ先: 運営事務局

株式会社幕張メッセ 事業企画課

〒261-8550 千葉市美浜区中瀬2-1

TEL: 043-296-0623(平日9:00～17:30)

FAX: 043-296-0529

E-mail: 2022makuhari@jnagakkai.jp

URL: <https://2022makuhari.jnagakkai.jp/index.html>

案内

第10回大阪府看護学会

(ハイブリッド開催)

日時: 現地会場・ライブ配信 11月26日

(土) 12:00 ～／Web 配信 11月26日(土)
～2023年1月12日(木)

会場：大阪府看護協会 ナーシングアート
大阪(大阪府大阪市)

テーマ：看護の原点を問う—新たな時代
への挑戦

プログラム：会長講演「看護の原点を問
う—新たな時代への挑戦」弘川摩子(大阪
府看護協会会長)／教育講演「これからの
倫理と看護」手島恵(千葉大学大学院看護
学研究院教授)／特別講演1「ユーモアを
生きる—困難な状況に立ち向かう最高の
処方箋」柏木哲夫(淀川キリスト教病院名誉
ホスピス長)／2「日本の医療の未来—多様
な価値に寄り添うためのテクノロジー」神
野正博(恵寿総合病院理事長)／シンポジウ
ム「医療・看護支援ロボット・AIとの協働—
その中に愛はあるのか？」森下竜一(大阪
大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学寄
附講座教授、鶴川美穂(湘南鎌倉総合病院
看護部長)、森永康平(ミルキク代表)／優秀
演題の口演発表

参加登録期間：12月22日(木) 15時まで
参加費：会員5500円、非会員9350円、
学生1100円(いずれも税込)

問い合わせ先：運営事務局

あゆみコーポレーション内

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-8

日栄ビル703A

TEL: 06-6131-6605

FAX: 06-6441-2055

E-mail: osaka-gakkai10@a-youme.jp

URL: <http://www.osaka-kangokyokai.or.jp/>

案内

第42回日本看護科学学会

学術集会(ハイブリッド開催)

日時：現地会場＋ライブ配信 12月3日
(土)～4日(日)

オンデマンド配信

会場：広島国際会議場、広島市文化交流
会館、JMS あすテールプラザ

テーマ：ケアサイエンスの構築に向けて
看護科学の深化と発展

プログラム：会長講演・特別講演1「研究
開発された看護ケアを世界に届ける：国
際共同研究」森山美知子(広島大学大学院
医学系研究科成人看護開発学)／「スリー
ゼロ社会を目指して」ムハマド・ユヌス
(ノーベル平和賞受賞者)／基調講演1「ケ
アサイエンスの構築に向けて(仮)」西村

ユミ(東京都立大学健康福祉学部人間健康科
学研究科)／2「ケアのイノベーション」須
釜淳子(藤田医科大学保健衛生学部)／3
「医療DXの現在地と展望」矢作尚久(慶
應義塾大学大学院政策・メディア研究科)／
パネルディスカッション1「ケアサイエン
スをどのように構築していくのか(仮)」標
葉隆馬(大阪大学社会技術共創研究セン
ター)、山川みやえ(大阪大学大学院医学系
研究科)、山田あすか(東京電機大学未来科
学部建築学科)／2「(再掲：看護理工学会合
同企画)ケアのイノベーション(仮)」桑名
健太(東京電機大学工学部先端機械工学科)、
雨宮歩(千葉大学大学院看護学研究院)、野
里同(岩手医科大学看護学部)／3「ビッグ
データとAIを活用した新たなケア提供シ
ステムの構築」福井小紀子(東京医科歯科
大学在宅ケア看護学分野)、加澤佳奈(広島
大学大学院医学系研究科共生社会医学講
座)、小林美亜(山梨大学大学院総合研究部
医学域)／4「看護学教育のグローバルス
タンドードに向けて—コロナ禍を通して
見えた、看護学教育として変わらなけれ
ばならないこと」Susan Ruppert (Professor
& Associate Dean of Graduate Studies, Cizik
School of Nursing at The University of Texas
Health Science Center at Houston)、高田早
苗(日本看護学教育評価機構)、石田昌宏(参
議院議員)、手島恵(国際看護師協会(ICN)
理事)、渡邊美和(文部科学省高等教育局医
学教育課看護教育専門官)／メインシンポジ
ウム「デジタルトランスフォーメーション
(DX)と看護科学の未来」清住哲郎(防衛
医科大学校)、五十嵐歩(東京大学大学院医
学系研究科)、織田千賀子(藤田医科大学保
健衛生学部看護学成人看護学)、高橋聡明
(東京大学大学院医学系研究科老年看護学分
野)、小池武嗣(聖隷クリストファー大学看護
学部)／シンポジウム1「『生きる』を支え
る看護ケアのイノベーション」坂井志織
(淑徳大学看護栄養学部看護学科/看護学研
究科)、谷口珠美(山梨大学大学院総合研
究部医学域看護学系)、重見美代子(医療法人
朝陽会美須賀病院)、三浦由佳(藤田医科大
学社会実装看護創成研究センター)／国際シ
ンポジウム「コロナパンデミック禍世界の
国々では演習や実習をどのように確保し
たのか」by INU (International Network of
Universities)、Nursing Leadership Collab
orative Christine Ann Argenbright (As
sociate Professor, DNP/MSN Program Coor
dinator, James Madison University, USA)、
Helena De Rezende (Senior Lecturer in

Nursing Research, School of Nursing, A joint
enterprise of Kingston University and St
George's, University of London, UK)、Mari
ette Bengtsson (Director of Studies, Depart
ment of Care Science, Faculty of health and so
ciety, Malmö University, Sweden)、Maria F.
Jiménez Herrera (Dean Nursing Faculty,
University Rovira i Virgili, Tarragona, Spain)
／記念講演「世界の卓越した女性の看護
師・助産師のリーダー100人」新福洋子
(広島大学大学院医学系研究科国際保健看
護学)／教育シンポジウム「臨床アウトカム
をエンドポイントとしたRCT：遠隔看護」
水川真理子(神戸市看護大学)、福岡泰子
(宇部フロンティア大学看護学部看護学科)、
原田智世(聖路加国際大学大学院看護学研
究科)、亀井智子(聖路加国際大学大学院看
護学研究科老年看護学)／「アジア・アフリ
カ学術基盤形成事業の工夫と困難さ：学
術振興会(2011-2022)」堀内成子(聖路加
国際大学)、岡美雪(聖路加国際大学大学院
看護学研究科)、小黑道子(東京医療保健大
学大学院千葉看護学研究科)、橋本麻由美
(常磐大学大学院看護学研究科/常磐大学看
護学部看護学科)／「認知の歪み(発達障害・
知的障害)へのアプローチ・研究の最前
線」宮口英樹(広島大学)、久保木祐樹(広
島少年院)、石附智奈美(広島大学大学院医
系科学研究科)／公開シンポジウム(日本学
術会議健康・生活科学委員会看護学分科会、
および日本看護学会協議会合同企画)「地
元創成看護学の実装—教育・研究・社会
貢献の循環」野戸結花(弘前大学大学院保
健学研究科)、射場典子(聖路加国際大学)、
森下安子(高知県立大学看護学部)／ほか
参加費：[当日受付(現金のみ)] 会員1万
2000円、非会員1万4000円、外国人留学
生、海外に居住する外国人2000円、学生
の当日受付なし

問い合わせ先：運営事務局

株式会社インターグループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共
同通信会館4F

TEL: 03-5549-6912

FAX: 03-5549-3201

E-mail: jans42@intergroup.co.jp

URL: [https://square.umin.ac.jp/jans42/
index.html](https://square.umin.ac.jp/jans42/index.html)

※掲載情報は2022年9月30日時点の内
容です。学会開催の有無など、最新の
情報は主催元にご確認ください。